

JR東海労なごや

2017年 2月27日 No. 1080
JR東海労名古屋地方本部
発行者：山田哲也
編集者：教宣部

新人事賃金制度導入から10年広がる格差を許さない！ ベア6000円獲得を中心に2017'JR春闘を職場から闘おう

第27回定期地本委員会開催



2月24日JR東海労名古屋地本は、牧野コミュニティーセンターにおいて第27回定期地本委員会を開催しました。今委員会は大会から半年経過して、これまでの取り組みと、2017'JR春闘を中心とした春の闘いについて議論されました。各委員から職場からの報告と今後の取り組みについて報告があり満場一致で方針は承認されました。

要求獲得と同時に職場で発生する諸問題解決に向け闘う

委員会は上田副委員長の開会の言葉で始まり、議長に営業分科会の水野委員を選出し委員会に移ってきました。冒頭山田地本委員長から「2017'JR春闘は、ベア6000円獲得を中心に闘いをつくる。と同時に職場で発生している諸問題、特に運輸職場で発生している年休取得問題を解消するため取り組みを強化する。」と春の闘いの具体的な取り組みについて挨拶がありました。

続いて本部から小林本部委員長、養田名古屋地本OB会事務局長、鉄道ファミリーからは加藤営業担当部長ら来賓からそれぞれ連帯の挨拶をうけました。その後質疑に入り各委員からこれまで職場から闘いの報告と、春の闘いの決意が発言されました。越坂中央執行委員より感想が述べられ、各担当執行委員から答弁があり、荻野書記長の総括答弁をうけ方針は満場一致で承認されました。丹羽副委員長の閉会の挨拶の後、山田地本委員長の団結ガンバローで委員会を終了しました。

主な取り組み

1. ベア6000円、定期昇給一律1500円×乗数4、夏期手当3.5ヶ月、格差ベア反対
2. 差別人事「専任V」撤廃、不当な昇進試験差別反対、60歳以降の雇用条件改善
3. 在来線駅無人化反対、リニア建設による効率化・経費節減反対
4. 年休抑制につながる、日勤再養育反対し年休完全消化を目指そう
5. 環境破壊、経営を圧迫し沿線住民・自治体の声を無視するリニア建設反対
6. 安倍政権の暴走を許さず、戦争に反対する労働者・市民団体と連帯して闘おう

